

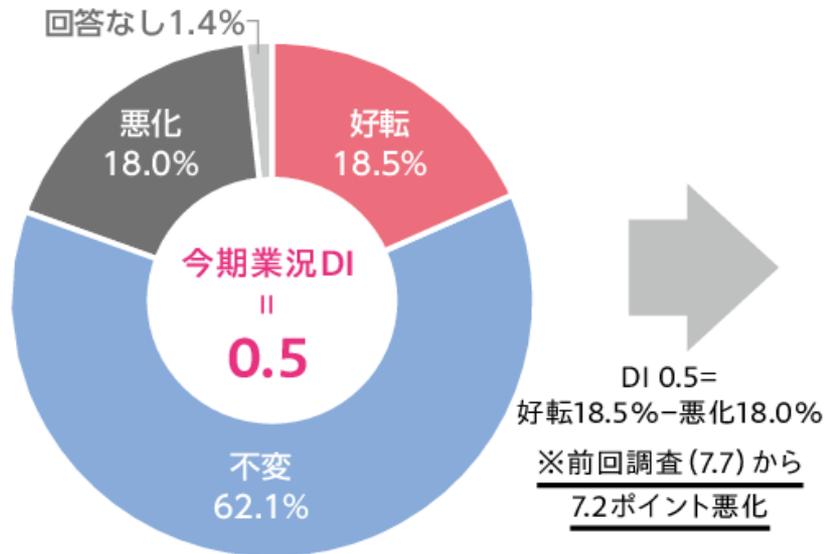
# 経済状況データ (DI) (2025年1月~3月期)

調査時期：2025年3月20日～4月18日  
対象期間：2025年1月～3月期、及び  
2025年4月～6月期見通し  
調査対象：東京商工会議所世田谷支部  
会員 (3,403社)  
回収状況：合計444社 (回収率13.0%)

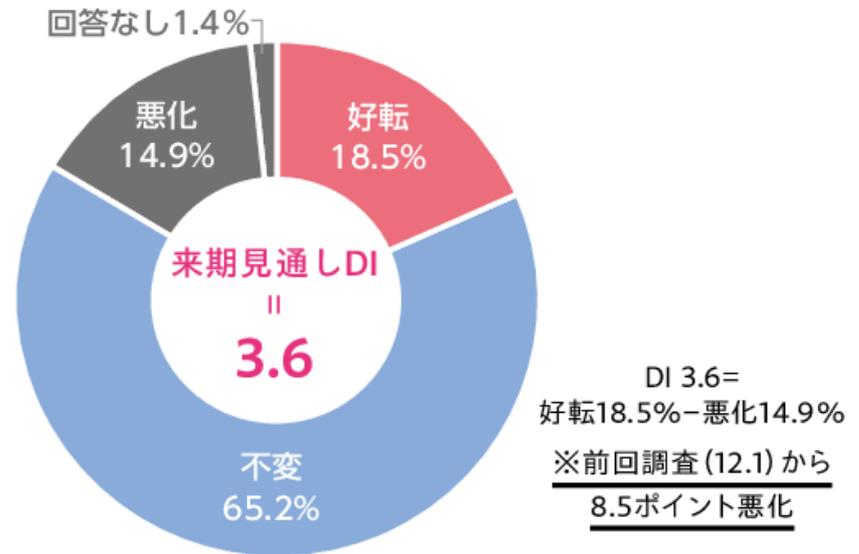
## 業況

今期(2025年1~3月期実績)の業況DIは、+0.5ポイントで前期から▲7.2ポイント悪化した。  
来期の業況見通しDIは+3.6ポイントとなり、前回調査より▲8.5ポイント悪化する見通し。

### 今期の業況(前期との比較)



### 来期の見通し(今期との比較)

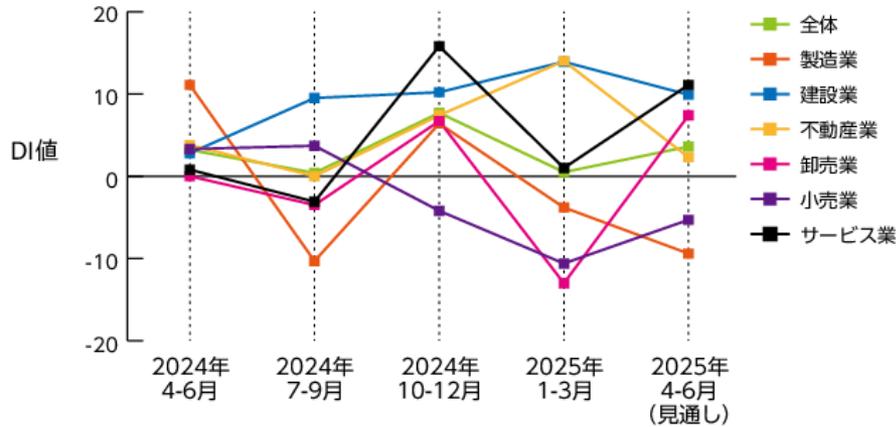


※DI (Diffusion Index) …DI(%)=「良い」「増加」等企業割合-「悪い」「減少」等企業割合。各項目について、「増加」「好転」とする企業の割合から、「減少」「悪化」した企業の割合を差し引いた値。プラスは全体として「増加」「好転」したとする割合が多く、景気が上向きの傾向を示す。マイナスは景気低迷の傾向を示す。

# 経済状況データ (DI) (2025年1月~3月期)

## 業種別の 動向

今期の業種別DIは「不動産業」+14.0(前期比+6.6)、「建設業」+13.9(同+3.7)の2業種でポイントが改善したが、それ以外は悪化した。大きく悪化したのは「卸売業」▲13.0(同▲19.7)、「サービス業」+1.0(同▲14.8)、「製造業」▲3.8(同▲10.2)の3業種で10ポイント以上減少した。来期は「卸売業」+7.4(当期比+20.4)、「サービス業」+11.1(同+10.1)は10ポイント以上増加する見通し。



業種	2024年 4-6月	2024年 7-9月	2024年 10-12月	2025年 1-3月	2025年 4-6月 (見通し)
全 体	3.2	0.4	7.7	0.5	3.6
製 造 業	11.1	▲10.3	6.4	▲3.8	▲9.4
建 設 業	2.8	9.5	10.2	13.9	9.9
不 動 産 業	3.8	0.0	7.4	14.0	2.3
卸 売 業	0.0	▲3.5	6.7	▲13.0	7.4
小 売 業	3.3	3.7	▲4.2	▲10.6	▲5.3
サ ー ビ ス 業	0.8	▲3.1	15.8	1.0	11.1

## 経営上の問題点

順位	項 目	回答数	回答率	前回順位	順位	項 目	回答数	回答率	前回順位
1	仕入単価、下請単価の上昇	205	46.2%	— 1	11	店舗・倉庫の狭隘・老朽化	28	6.3%	↓ 10
2	人件費の増加	159	35.8%	— 2	12	事業資金の借入難	24	5.4%	↑ 13
3	人件費以外の経費の増加	143	32.2%	— 3	13	大企業(大型店)進出による競争激化	22	5.0%	↓ 12
4	従業員の確保難	118	26.6%	— 4	14	取引条件の悪化	16	3.6%	— 14
5	需要の停滞	59	13.3%	↑ 6	15	在庫の過剰	12	2.7%	— 15
6	購買ニーズの変化への対応	55	12.4%	↑ 7	16	在庫の不足	10	2.3%	↑ 17
6	金利負担の増加	55	12.4%	↑ 9	17	購買力の他地域への流出	7	1.6%	↓ 16
8	販売単価、製品単価、請負単価の低下・上昇難	52	11.7%	↓ 5	17	代金回収の悪化	7	1.6%	— 17
9	新規参入者の進出や同業者の増加	37	8.3%	↓ 8	19	生産設備の過剰	2	0.5%	— 19
10	生産設備の不足・老朽化	34	7.7%	↑ 11					

※複数回答(3つまで選択)のため、回答率の合計は100%を超える。